2025年8月22日　vol.55

緑でいこう GO GREEN

地球ひとつぶで生きる

GREENS JAPAN ACTION

6/15 兵庫県尼崎市議選で、サポーターの迫田敬一さんが2期目の当選。市内を駆け回り市民の声を議会に届ける活動が評価された。

7/20　長野県富士見町議補選で会員の佐久祐司さんが2回目の当選。子ども支援に尽力し、持続可能なまちづくりをめざす。

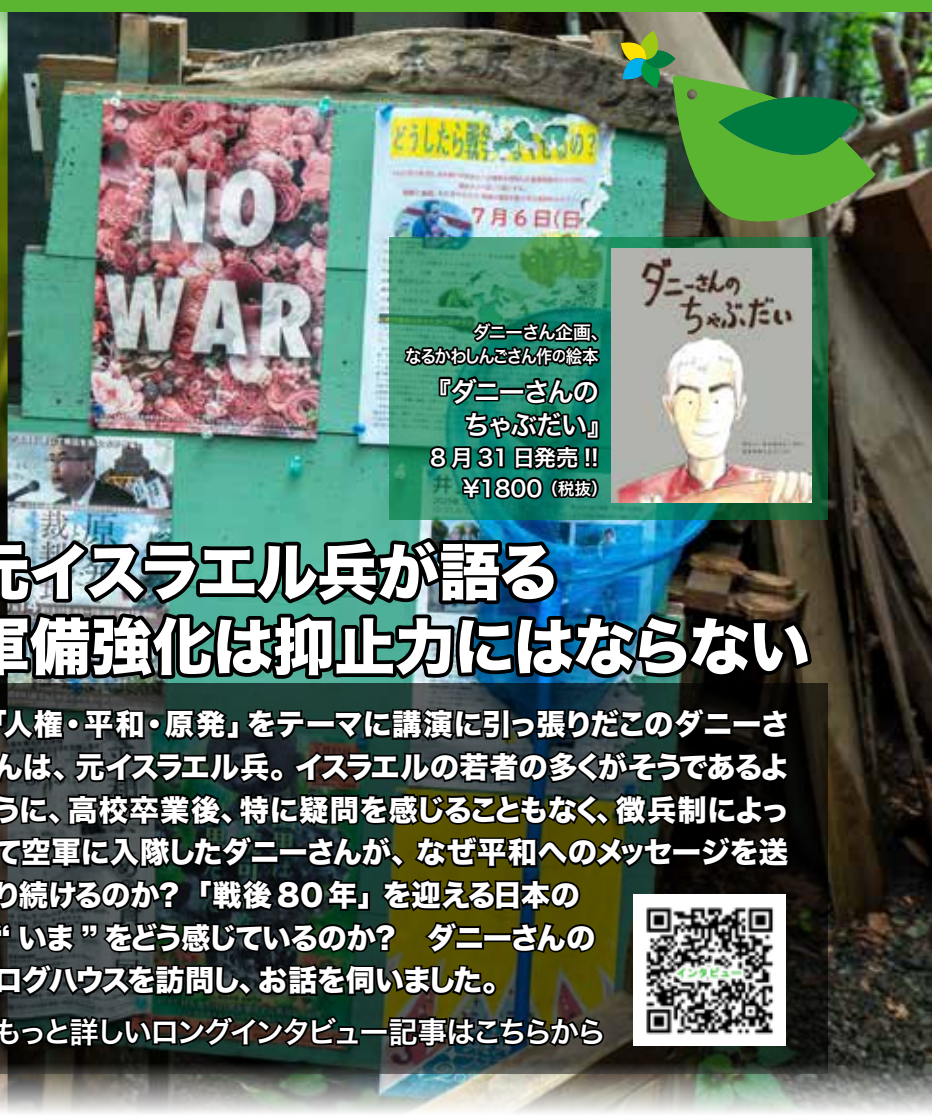
7/21 東京都本部が阿佐ヶ谷駅前で「海の日アクション:STOP汚染水海洋放出」を行ない、道ゆく人々に、汚染水の危険性と数々の問題点について語りかけた。

Interview

木製家具作家
人権・平和・反原発活動家

ダニー・ネフセタイさん

1957年イスラエル生まれ。3年間の兵役後、アジアを放浪し、1979年に初来日。家具会社勤務を経て、埼玉県秩父郡皆野町に「木工房ナガリ家」を開設。夫婦で注文家具・遊具・木工小物・社会性オブジェの創作に取り組む。信条は、「世の中を良くすることも物づくりをする人間の使命」。戦乱の絶えない祖国を憂いて平和活動に注力するとともに、「3.11」後に市民運動「原発をとめよう秩父人」を立ち上げるなど、精力的な活動を展開している。



ダニーさん企画、なるかわしんごさん作の絵本
『ダニーさんのちゃぶだい』
8月31日発売!!
¥1800（税抜）

元イスラエル兵が語る
軍備強化は抑止力にはならない

「人権・平和・原発」をテーマに講演に引っ張りだこのダニーさんは、元イスラエル兵。イスラエルの若者の多くがそうであるように、高校卒業後、特に疑問を感じることもなく、徴兵制によって空軍に入隊したダニーさんが、なぜ平和へのメッセージを送り続けるのか？「戦後80年」を迎える日本の“いま”をどう感じているのか？　ダニーさんのログハウスを訪問し、お話を伺いました。

もっと詳しいロングインタビュー記事はこちらから

イスラエル人にとって「10・07」は、「第2のホロコースト」

――日本は「戦後八十年」を迎えましたが、世界では戦争や紛争が絶えません。まずはダニーさんの母国であるイスラエルの状況を教えてください。

ダニー　2023年10月7日(以下:「10・07」)に始まった今回のガザへの軍事作戦を、イスラエル側はイスラム組織ハマスによる越境攻撃への報復だとしています。百歩譲ってそうだとしても、今回の攻撃がかつてないほど執拗かつ残虐なのは、イスラエルが「10・07」を特別な意味で受け止めているからです。これまでの武力衝突では多くのパレスチナ人が殺されることがあっても、イスラエルの一般市民に被害が及ぶことはほとんどありませんでした。それが「10・07」では、子どもや民間人を含む1、139人が殺害されたのです。1日でこれだけの命が失われたのは、ナチスがユダヤ人を大量虐殺したホロコースト以来のこと。そのため、イスラエルでは「10・07」を「第2のホロコースト」と呼んでいます。いまだに生死を問わず50名の人質が戻ってきていないことが、そこに拍車をかけています。

戦争は、場合によって仕方がない?!　子どもたちは、そうは考えない

――平和に関する講演活動で全国を駆け巡っておられますが、子どもたちの反応は？

ダニー　子どもたちには「場合によっては、戦争は仕方がない」という発想がありません。バイアスやしがらみがないからです。「喧嘩はダメだから話し合おう」と同じで、みんながみんな「人を殺すのはダメに決まっている」と思っています。そこで、小学校で空軍兵だった頃の私の軍服姿の写真を提示してみました。すると、最初はみんな「カッコいい!!」と声を揃えますが、講演後には十人十色の感想を聴かせてくれるようになるのです。また、「若い人は考えない」といいますが、決してそうではありません。大学生に「刀をどう思うか？」という質問をぶつけたところ、相手を殺す、傷つけるという本来の用途は知っているものの、美術品として捉えている学生が少なくありませんでした。ところが、「刀身の煌めきが綺麗で印象的」と感じていた学生が、講演後に「自分の思考は危険だった」という感想を書いてくれました。このように、先入観・偏見・思い込みなどがあったとしても、インプットによってアウトプットも違ってくるのです。

長く日本で暮らす中で分かってきた「憲法9条」のポジショニング

――戦乱が繰り返されるイスラエルと、戦後八十年を迎えた日本との違いはどこにあるのでしょうか？

ダニー　22歳で初めて日本を訪れ、美しい国だと感動して暮らし始めたのですが、そのうちに物足りなさを感じるようになりました。子どもの頃から「国を守るのは強い軍隊」と信じ込まされてきたので、「平和ボケ」だと映ったのです。ところがある時、ふと考えました。「最強の軍隊を保有している」はずのイスラエルでは、常に次の戦争に怯えている。一方で長い間、日本で戦争が起きていないのは何故……?!　そう考えた瞬間、自分が間違っていたことに気が付きました。近隣諸国と揉め事があってもすぐに戦争にならないのは、「憲法9条」という縛りが効いているからだと、ようやく気付いたのです。

鍵は、「安全保障」の前提条件「守れる」?!　それとも「守れない」?!

――参議院議員選挙でも争点の一つになった「安全保障」は、どう取り組むべきでしょうか？

ダニー　極論ですが、キーマンは外務大臣と環境大臣。何故ならば、近隣諸国を含めて他国と仲良くするのが外務大臣の役割、環境破壊や地球温暖化を加速させる戦争を止めるのが環境大臣の役割。だったら、そういう政府を選べばいいんです。でも、日本人の多くが近隣諸国に嫌悪感を抱き、戦争になることを恐れているのは、彼らがまともな能力を発揮していないからだと思います。

――「軍備増強による抑止力」を支持する意見がどんどん広がっていることに危機感を抱いています。ダニーさんはどうお考えですか。

ダニー　「抑止力」とは「仮想敵」を想定して、その国が攻撃を仕掛けてきた際の「損害」が「利益」を上回ると思わせることで、攻撃を思いとどまらせる力。そのロジックは国を「守れる」という前提の上に成り立っています。でも、近隣国にははるかに強力な軍隊を持った国があるので、大量の最新兵器を購入するわけです。当然、相手国もそれに応じて軍備を強化するので、いわゆる「抑止力のイタチごっこ」が始まります。これではいくらお金があっても足りません。しかも、世界有数の少子高齢化社会である日本は、どうやって兵力を確保するのでしょうか？　このように「守れる」を前提とした「抑止力」は矛盾だらけです。だったら、「守れない」という前提に立って「安全保障」を考えてみたらどうでしょうか。答えは簡単明瞭です。外交による「対話」を通じて、「敵」といわずに仲良くするしかないのです。

インタビュアー
鈴木ちひろ

国分寺市議会議員
1996年生まれ。大学卒業後に日本語教師として赴任した奄美大島で環境問題に関心を持つ。農村指導者養成専門学校「アジア学院」や「ブラウンズフィールド」で自然に寄りそった農業生活を実践。オーガニックカフェ勤務、重度障がい者の介護ヘルパーを経て、2023年の国分寺市議会議員選挙に立候補して初当選。

報告・東京都議会議員選挙

市民選挙で圧勝！ 東京都議 漢人あきこ2期目へ

6月22日投開票の都議会議員選挙は、7月参院選の前哨戦としても注目される中、自民党が大敗し、小池知事と連携する都民ファーストの会が第一党となりました。立憲民主党が議席を増やし、共産党は減少の一方、国民民主党、参政党が新たに議席を得て議会構成は大きく変わりました。

市民選挙が全面開花

そのような中で、漢人あきこは、1人区の小金井市選挙区で、無所属で緑の党はじめ6つの政党政治団体の推薦を受け、投票終了直後の「当確」という、前回を上回る19,392票を得ての圧勝で、2期目の当選をすることができました。「市民自治が息づく小金井市をつくりたいという共通の思いを持つ仲間を候補者として、手づくりの市民選挙を多くのみなさんと繰り広げたい」という呼びかけのもとで取り組んだ1997年の市議選で初当選してから約30年。市議16年も経て培い積み上げてきた小金井的「市民選挙」は、確実に力を蓄え、政治的影響力を拡げ、全面開花しました。

4年の実績を前へ

今回は、4年間の活動による実績やつながりの拡大、知名度アップを背景に、現職としての「守り」の側面が強くなりました。また、3月に行われた市議選後の3カ月間という短期間での取り組みでした。対立候補の顔ぶれが出そろった5月連休のころから、5月17日に企画した「都議会報告会スペシャル」にむけて、やっと本格的に動き出しました。

最終日フィナーレ大市民リレートークを終えて

5月17日のイベントでは、市内及び都内各地でのさまざまな活動～神宮外苑再開発、檜原村産廃施設、朝鮮学校補助金、英語スピーキングテストなどに取り組むみなさんの参加もあり、全都的なつながり、市外からの支援の拡大も実感することができました。

緑の党自治体議員はじめ多くの方が応援に

今回も市議会の3分の1にあたる8人の市議の応援もいただきました。

ユースも活躍

選挙を担うメンバーも支援者も増え、10代から後期高齢者まで幅広く拡がりました。特に若い世代とのつながりは4年間意識的に追求し、都議会スタッフや学生インターンの受け入れも行ってきました。若い人たちもコアメンバーとして企画からマネージメントまでさまざまな活動を展開し、対外的な印象も変えることができたのではないでしょうか。

ユース企画「若者と都政をつなぐ」トーク

そして、前回に引き続き、「楽しかった」と言える選挙を心がけ、達成できたと思います。

動画は他陣営を圧倒

SNSや動画での発信は特に重視しました。10名を超えるチームでの相談や試行錯誤の数か月を経て、選挙期間にはチームワークや街宣などのリアルとの連携も向上。動画は各種・多数アップし、高視聴を得た作品もあり、他陣営を圧倒していました。今回の大きな特徴です。

道路計画見直しが民意

重点政策として訴えた「はけと野川を壊す都市計画道路はいらない」は、いま重要な局面にあります。ここで推進派の攻勢を跳ね返した意義は大きく、自らの公約に反して「容認」に傾いている市長や、来年度からの都市計画道路の「新しい整備方針」を策定中の東京都へ、計画の中止・見直しを求める民意を明確に示すことができました。

政治的存在感も責任もアップ

圧勝という結果を受けて、政治的存在感は大きくアップしました。小池都政に批判的な立憲民主党、共産党、少数会派などとの連携の要としての役割や、市民活動や市民運動とつながる都議会議員としてのハブ的機能もさらに高まります。気候危機を訴える緑の党としての責任もますます重大です。

2期目も、ひとり会派「グリーンな東京」で、市民力と連携の可能性を信じてスタートします。

漢人あきこ
（都議会議員／緑の党グリーンズジャパン共同代表）

早々の当選確実報道を受けた事務所

第27回参議院議員選挙の結果を受けて

今回の第27回参議院議員選挙では、自民・公明の与党が大きく議席を減らして過半数を割り込む一方、野党の中でも新興勢力が多くの議席を獲得するなど、長年続いた政治構造が大きく変化しました。

私たち緑の党が推薦・支持した10名の候補者では、3名が当選を果たし、7名は残念な結果となりました。各候補や支援された皆さんの奮闘に心より敬意を表します。

今回の参院選では、本来であれば、深刻な気候危機に対する対策、安心して暮らせる持続可能な社会保障の拡充と公正な負担のあり方、これらの問題と将来世代への影響など、長期的で持続可能な政策が議論されるべきでした。しかし、多くの政党の公約では、これらに関する議論や提案はほとんど見られませんでした。

選挙は終わりましたが、民主主義はここからが本番です。今回の結果の意味と今後の課題について、党内外で広く市民の皆さんとともに真剣に議論しながら、声を上げ、未来をつくっていきましょう。

共同代表
中山均　漢人あきこ　尾形慶子　八木聡

全文はHPに掲載

参議院選挙・自治体選挙

6/15	兵庫県尼崎市議選	田中じゅんじ	現	サ	推薦	残念
6/15	兵庫県尼崎市議選	さこ田けいいち	現	サ	推薦	当選
6/15	兵庫県尼崎市議選	いちのせ剛	新	非	支持	残念
6/22	東京都議選	漢人あきこ	現	会	推薦	当選
6/22	東京都議選	岩永やす代	現	非	推薦	当選
6/22	東京都議選	高岡じゅん子	新	サ	推薦	残念
6/22	東京都議選	小松久子	元	サ	推薦	残念
6/22	東京都議選	原田あきら	現	非	推薦	当選
6/22	東京都議選	もり愛	現	サ	推薦	当選
6/22	東京都議選	原のり子	現	非	推薦	当選
6/22	東京都議選	関口健太郎	現	非	推薦	当選
6/22	東京都議選	西沢けいた	現	非	推薦	当選
6/22	東京都議選	愛みちこ	新	サ	推薦	残念
6/22	東京都議選	鈴木烈	現	非	推薦	当選
6/22	東京都議選	田中とも子	元	非	推薦	当選
6/22	東京都議選	山花のり子	新	非	推薦	残念
6/22	東京都議選	西崎つばさ	現	非	推薦	当選
7/20	長野県富士見町議補選	佐久祐司	元	会	推薦	当選
7/20	参議院選	石川大我	現	サ	推薦	残念
7/20	参議院選	長谷川羽衣子	新	サ	推薦	残念
7/20	参議院選	大椿ゆうこ	現	非	推薦	残念
7/20	参議院選	打越さくら	現	非	推薦	当選
7/20	参議院選	田島まいこ	現	非	支持	当選
7/20	参議院選	すやま初美	新	非	支持	残念
7/20	参議院選	大西雅人	新	非	推薦	残念
7/20	参議院選	つじ恵	新	非	支持	残念
7/20	参議院選	羽田次郎	現	非	支持	当選
7/20	参議院選	あさか由香	新	非	支持	残念
10/5	山形県鶴岡市議選	草島進一	現	会	推薦	
11/9	東京都葛飾区議選	みずま雪絵	現	サ	推薦	
11/9	東京都葛飾区議選	沼田たか子	現	非	推薦	
11/16	佐賀県鳥栖市議選	牧瀬昭子	現	サ	推薦	

新:新人　現:現職　/ 会:会員　サ:サポーター　非:非会員

主な声明・論説　2025年5月～7月

詳しく知る▼

- ◆ **日本国憲法施行**から78年－平和と憲法、民主主義を脅かす深刻な危機の中で、**「緑の政治」の実現を**（5/3）
- ◆ **日本学術会議法案**に**抗議**し、その撤回を強く求めます（6/6）
- ◆ **第27回参議院議員選挙**にあたって（7/3）
- ◆ **東電株主代表訴訟**・控訴審の株主敗訴ー**不当判決に抗議**します（7/8）
- ◆ **第27回参議院議員選挙**の**結果**を受けて（7/22）

世界のみどり　GLOBAL GREENS

詳しく知る▼

緑の党は世界100以上の国や地域で活動し、グローバル・グリーンズ(GG)というネットワークをつくっています。

5/24 ドイツ緑の党系のシンクタンク「ハインリヒ・ベル財団」を迎えて、**ドイツの脱原発事情・気候変動対策**について勉強会を、FoEジャパンの協力のもと開催した。日本からは会員の蛇石いくこ(前福島県郡山市議)が、**福島の現在を報告**した。

下院議会へ再選したカナダ緑の党党首メイ氏

7/31　カナダ、オーストラリア、イギリスでは、今年4月5月に行われた国政選挙と地方選挙で、緑の民主的政治勢力は、政権与党や右翼的勢力との間で激しく争い、議席の減少を抑えた。

緑の党 グリーンズジャパン
https://greens.gr.jp
E-Mail greens@greens.gr.jp
〒165-0026
東京都中野区新井2-7-10サンファスト301
TEL 03-5364-9010　FAX 03-3389-0636

会員・サポーター募集しています

カンパにご協力お願いします

城南信用金庫　高円寺支店(店番号036)　普通預金
口座番号:340392　名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座　ゆうちょ銀行
口座番号:00100-9-262967　名称:緑の党
他金融機関からのお振り込みの場合　当座預金
店名:〇一九(ゼロイチキュウ)　口座番号:262967

発行：緑の党 グリーンズジャパン　印刷：株式会社メイク　この印刷物は鉱物油成分の一部を大豆油等におきかえた植物油インキで印刷され、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

ニュースレター購読料 1,000円/年